

札幌開成中等教育学校の生徒が社内研修 ニュース番組制作の舞台裏に潜入 学校での情報発信に向けたポイントを学ぶ

2026年7月13日（月）

7月13日（月）、札幌開成中等教育学校の生徒会や放送局、新聞局の生徒たちがHTBで社内研修を行いました。学校での情報発信や日頃の活動に役立てるため、「報道の現場を学びたい」という生徒たちの要望から実施されたものです。

研修では、報道部の広瀬久美子副部長から映像と音声を使ってニュースをわかりやすく伝える工夫や、ネット上の情報を鵜呑みにせず確認作業を行う大切さについて講義を受け、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。

報道フロア見学では、記者と編集スタッフが話し合いながら映像をつなぐ編集ブースや、テロップを作成する美術ルームなどを巡り、ニュースが出来上がるまでのリアルな舞台裏を体感しました。スタジオ見学では実際のカメラ操作にも挑戦しました。

参加した生徒は「いろいろなことを学べて世界が広がった」「学んだことを活かして学校を盛り上げられるような作品を作りたい」と笑顔で話していました。

